

第 170 回友の会 打見山・蓬萊山観察会

～涼風の山上から見る琵琶の湖～

日 時 2019年7月14日

場 所 滋賀県びわこ湖バレイ周辺

天 候 曇りのち雨

参加者 一般26名(内子供3名)スタッフ15名 合計41名



雲の中での観察会

一週間前から雨の予報が出ており心配していましたが、雨に降られることなく観察会を開始することが出来ました。JR 志賀駅からびわこ湖バレイ行のバスに乗り、ロープウェイを使って頂上まで登りました。天気あまりよくないのでロープウェイからの景色はあまり期待していなかったのですが、雲を突き抜け、眼下に雲海が現れた時には参加者の皆さんも興奮した様子でした。ゴンドラを降り、点呼を済ませた後、観察会がスタートしました。

初級者向けのゲレンデ(アルペンコース)を 100m ほど下りながら行きは左側、帰りは反対側を観察しました。初級者向けとはいえスキーのコースなわけで、一度転んでしまうとどこまででも転がって行ってしまうような程急な坂でした。子供たちも走ったりせず恐々としながらゆっくりと歩いていました。



コケオトギリ

ゲレンデを下っていくと、ヤマガラシ、テンニンソウ、コケオトギリ、オトギリソウ、ヒカゲノカズラ、コナスビ、ニシキソウ、クリンソウ、マムシグサ SP、ミゾホオズキ、キクムグラ、オオイワカガミ、ナルコスゲ、ヨツバヒヨドリ、バイケイソウ、ミズタバコ、ヘビイチゴ、ヤマトウバナ、オタカラコウなどの草花が見られました。クリンソウの花はほとんどが実になっていましたが数輪だけ残っていました。群落もあり、「これがすべて咲いていたらすごく綺麗やろうね」という声が幾度も聞かれました。



コナスビの花

木本としては、真っ赤な葉柄のサルナシに、葉柄の無いミズナラ、へこんだ葉柄のウリハダカエデと真ん丸葉柄のテツカエデ、短い葉柄のハウチワカエデと長い葉柄のコハウチワカエデなど葉柄がポイントのものがたくさんありました。他にはイワガラミ、ツルアジサイ、ヤマアジサイ、コアジサイ、ノリウツギなどのアジサイの仲間や、リョウブ、クマシデ、ハウノキ、コハクウンボク、オオカメノキ、ブナ、クロモジ、ヤマボウシ、マルバマンサク、コマユミ、ツノハシバミ、シャクナゲ、ネジキ、アオダモが見られました。



数輪残ったクリンソウ

要所要所でオオイワカガミについて、コハウチワカエデとハウチワカエデの違い、ウリハダカエデと

テツカエデの違い、ミゾホオズキについてなど、担当者による説明があり、参加者を楽しませていました。カエデやアジサイの仲間が多く、実際に見ながら比較することが出来、違いが理解しやすかったのではないかと思います。

昼食を食べ終え、店開きをする時間になると雨が降り始めました。店開きでは、キリギリスとバッタ、コオロギの違いについて、クマシデについて、サルナシ、ヒカゲノカズラについての説明と観てきた植物の復習を行いました。個人的には天岩戸に隠れたアマテラス大神を誘い出すために、アメノウズメがヒカゲノカズラを首に巻いて岩戸の前で踊ったという話が印象に残りました。

雨がちらちらと降る中、来た道の反対側を観ながら坂道を上りました。かなりきつい坂でしたが、脱落者を出すことなく頂上まで戻ってくることが出来ました。生憎の天気で琵琶湖を一望することはできませんでしたが、涼風を感じながら湿った汁谷ならではの観察会が出来たのではないかと思います。(辻)



昼食風景 ガスって来ました



きれいな色のヤマアジサイ



真っ赤な葉柄がきれいなサルナシ



ミゾホオズキ



クマシデ



ヤマトウバナ